

# 人組合協同

2013.10

京都府協同組合連絡協議会ニュース

NO.66

京都府協同組合連絡協議会  
はJA（農協）、JF（漁協）、  
森林組合、生協等の京都府  
内の協同組合運動相互の  
連絡提携、共通課題の実行  
を目的に活動をすすめています。

## 人いきいき



和東町森林組合

職員 大西 研介 さん

### ●プロフィール●

昭和42年2月生まれ

平成14年 和東町森林組合に就職

平成19年 グリーンワーカー研修修了

平成25年 森林施業プランナー認定試験にチャレンジ中

山間地の稜線を切れることなく続く茶畑の畝。古くから山城地方に広がる風景として宇治茶の歴史とともに育まれてきました。

ここは、京都府相楽郡和東町。町の基幹産業であるお茶の歴史は、鎌倉時代にもさかのぼるといわれ、宇治茶の主産地として今も伝統と文化が息づくまちです。

このような歴史をもつ和東町ですが、もうひとつ、重要な資源を有しています。それは、町面積の75%を占める豊かな森林資源です。

和東町の森林資源は、古くは寺社建築のための用材として用いられ、東大寺や興福寺の荘園

として繁栄しました。この豊かな森林資源を孤軍奮闘守り続けている、和東町森林組合の職員、大西研介さんを訪ねました。

古くから和東町はお茶と林業の町でしたが、今はお茶がメイン。木材価格の低迷などから採算が合わず、ここでも山離れが進んでいます。

大西さんはもともと信用金庫に勤めていましたが、森林組合職員の世代交代にあたり、地域森林管理の若き担い手として白羽の矢が立ちました。ヘッドハンティングの形で森林組合に就職した大西さんの日頃の業務は、事務処理全般から現場監督、現場リーダー、地元の方々の窓口役、事業の折衝など、枚挙にいとまがありません。

もともと職員一人の森林組合。たった一人で組合運営を最前線で切り盛りしています。「物理的にも一人でできることには限界がある。24時間フル操業状態で組合員の皆さんからの相談に対応しなければならない」と、嬉しそうにこぼしていました。

「和東の山のことは大西研介に訊け！」と言われたときは、信頼されているのだなと感じたとのこと。「10年たった値打ちやね」と、はにかみながら笑顔を見せてくれました。

大西さんは今、森林作業道の開設に携わっています。この取り組みも大西さんからの働きかけがあって実現しました。作業の効率化を図り、木材を搬出するため山の中に道をつくる森林作業道開設は非常に大切な作業です。

「いずれはかつてのように和東町産木材が市場に流れていくような体制にしたい。」と抱負を語ってくれた大西さん。一人何役もこなすのは大変でしょうが、是非、夢を実現してください。

ハード・ソフトの二刀流を目指して

編集発行

京都府協同組合連絡協議会

Kyoto Joint Committee of Co-operatives

J A（農協）・J F（漁協）・森林組合・生協

連絡先

京都府生活協同組合連合会

〒604-0851 京都市中京区烏丸夷川角

TEL(075)251-1551 FAX(075)251-1555